

令和4年度 保育園の自己評価

「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該書の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」ことが明記されています。このことに基づき、東桂保育園では自己評価を実施しています。評価を踏まえた計画の改善を行い、今後も保育に活かしていけるよう保育内容等の充実を図ってまいります。

【評価について】 評価は以下の基準で行っています。

A…十分に達成されている（100%）

B…ほぼ達成されている（80%）

C…取り組まれているが成果が十分ではない（60%～80%）

令和4年度は新型コロナウイルス感染症による影響で実施出来なかった項目があり評価結果を*印で表記してあります。

A 子どもの発達援助

A-1 子どもの発達援助の基本

小分類	評価項目	評価結果
全体計画を基本方針に基づき、作成している	① 全体計画の作成には職員が参加している	B
	② 地域の実態や保護者の意向などを考慮して、全体計画を作成している	B
	③ 全体計画を保護者に説明している	A
指導計画の評価・検討を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を見直している	① 各年齢の子どもの発達状況に考慮した指導計画となっている	A
	② 日常の保育を振り返り子どもの思いや気持ちを汲み取りながら、次の指導計画に反映させている	A
各年齢の子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録がある	① 一人ひとりの子どもの発達状況、保育目標、生活状況についての記録がある	A
	② それぞれの子どもに関する情報を周知している	A
	③ ひとりひとりの子どもの発達状況、保育目標、保育の実践について話し合うためのケース検討を必要に応じて実施している	A
【評価の根拠】 ・コロナ禍の中で様々なことが感染状況により変化しているので計画作成においても、実行からの反省が行かして、子どもの発達や興味にあわせ細かな検討が必要であった。また保護者にも全体計画を伝えつつ変更はその都度知らせて対応していった。		

A-2 健康管理

小分類	評価項目	評価結果
子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	① 健康に関するマニュアルがあり、職員に周知し、実施している	A
乳幼児突然死症候群(SIDS)・感染症を予防する仕組みがある	① マニュアルがあり、それを活用している	A
	② マニュアルに基づき、保護者への感染症の予防策及び対応について周知している	B
【評価の根拠】 ・子ども達の健康状態の情報を共有し、一人ひとりが健康に過ごせるよう日々マニュアルにのっとり対応している。 ・健康カードや連絡ノートで日々の健康状態の確認している。		

A-3 食事

小分類	評価項目	評価結果
食育を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	① 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている	A
	② 落ち着いた環境楽しく食事が出来るよう工夫している	B
	③ 食事の状況に基づき調理内容を改善している	A
アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている	① アレルギー疾患、慢性疾患をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている	A
	② 間違いがないように個別のプレートやトレーなどで分け、調理師同士や保育士と確認している	A
文化・習慣の違いなどの個別に配慮した食事を提供している	① 保護者の申し出により、個別に対応している	C
【評価の根拠】 ・離乳食は個別の発達に合わせて栄養士と相談しながら進めている。他クラスは献立会議や日々の検食、こどもの反応に対応できる体制をつくっている。 ・アレルギー対応の食事は命に係わる重要なことと認識し確認を繰り返しながら提供している。担当変更時にも間違いなく対応できるよう周知徹底をしている。 ・文化習慣の違いを知ってはいるが、保護者からの要望がなく現在は得に配慮せず、他児と同じ食事に慣れていくよう見守っている。		

A-4 保育環境

小分類	評価項目	評価結果
子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	① 園内の清掃・消毒・換気がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A
	② 屋内外の衛生面・安全面に配慮している	A
生活の場に相応しい環境とする取組みを行っている	① 保育者自身も環境の一部として生活の場面にあった保育者の声、音楽など音に配慮している	B
	③ 園内に、子どもたちが季節感を味わえるような工夫をしている	A
(評価の根拠) ・室内外の衛生面・安全面は感染症対策も踏まえ職員一同努力した。子ども達への声かけや音楽の音にも気を付けていったが、更に努力していこうと思う。		

A-5 保育内容

小分類	評価項目	評価結果
子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	① 子どもにわかりやすい温かな言葉づかいで、穏やかに話している	B
	② 子どもの要求や訴えに対して、子どもの気持ちを受け止め、状況に応じた適切な対応をしている	A
	③ 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A
	④ 子どもが主体的に活動できる環境が整備されている	A
身近な自然や社会とかかわれるような取り組み方がされている。	① 身近な生活体験の中で、命の大切さや季節感など、豊かな感性を育むよう配慮をしている	A
	② 生活あそびをと通して、数・量の感覚が身につくよう工夫している	A
	③ 散歩や行事などで、子どもたちが主体的に地域の人に接する機会を作っている	B
様々な表現活動が体験できるように配慮されている	① 身体等を使った様々な表現遊びが取り入れられている	A
	② 様々な素材を使って、描いたり、作ったり、自由に表現できるように配慮されている	A
	③ 絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に取り入れている	A
遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している	① 喧嘩の場面では、危険のないように注意しながら、子ども達のプライド、自立性を尊重し、子ども達同士で解決するよう援助している	A
	② 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している	A
	③ 広く社会性を身につけられるよう、異年齢の子ども達や様々な年齢層の人たちと交流している	B
乳幼児保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮をしている	① 離乳食については、家庭との連携を取りながら、一人ひとり子どもの状況に配慮して行っている	A
	② 一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠をとることができるように、静かな空間が確保されている	B
	③ 顔を見合わせてあやしたり、乳児のやりとりや触れ合い遊びを行っている	A
	④ 特定の保護者と継続的な関りが保てるよう配慮している	B
長期間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	① 長期間保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している	A
要支援児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している	① 保護者の理解のもと、関係機関、医療機関等との連携を図り、必要に応じて助言・援助を受けている	A
	② 要支援児が園生活を送るために、必要に応じて園の子ども達や保護者に支援が必要な事を理解できるように配慮している	B
積極的な健康増進の工夫を遊びの中に取り入れている	① いろいろな運動遊びを工夫しながら取り入れている	A
【評価の根拠】 ・コロナ禍により地域との関わりや行事等制限されるものが多く残念であった。その中今出来ることを模索しながら、発達や興味に添った計画、配慮、援助をして活動し子ども達の成長を支えていった。		

A-6 入所児童の人権尊重

小分類	評価項目	評価結果
子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	① 子どもが自分の思いや意見を、はっきり言うことが出来るよう配慮し、それを尊重している	A
	② 一人ひとりの子どもの身体の状態、生活習慣や文化、家庭の事情、考え方などの違いを知り、それを尊重する心を育てている	A
性差への先入観による固定的な観念や意識を植え付けないよう配慮している	① 子どもの態度、服装、遊びなどで性差への先入観による固定的な対応をしないよう配慮している	A
外国籍や帰国子女の子どもに対して、適切な配慮がなされている	① 日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるよう、努力や工夫をしている	B
保育中の子どもの人格尊重を意識している	① 保育者は、子どもの人格尊重を意識して保育を行っている	A
【評価の根拠】 ・一人ひとりを大切に尊重し、ジェンダーフリーの考え方で保育している。また、外国籍のお子さんについては、お子さんの言葉の習得を援助しながら、保護者に対しても丁寧なかかわりで信頼関係を築くよう心掛けている。		

B 子育て支援

B-1 入所児童の保護者の育児支援

小分類	評価項目	評価結果
家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている	① 送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会を設けて相談に応じたり個別面談を行っている	A
家庭の情報や情報交換内容が必要に応じて記録されている	① 個人面談記録をとっている	A
	② 家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されている	A
発達や育児等について保護者と共通理解を得るための機会を設けている	① 保護者会・懇談会などを定期的に開催し、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B
虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努めている	① 保育者は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	A
	② 虐待児の早期発見の仕方についてマニュアルがあり、全職員に周知している	A
保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供している	① 「園だより」や「クラスだより」など定期的に発行している	A
	② クラスごとの保護者会・懇談会などで、保育内容・目的をわかりやすく説明し情報提供を行っている	B
保護者の保育参加を進めるための工夫をしている	① あらかじめ年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている	A
	② 保育参加・保育参観の機会を随時受入れている	*
【評価の根拠】 ・日常のお迎え時や連絡ノートで子どもの情報交換をして、必要に応じて個別の相談へつなげている。保育参観・参加は少しずつ増やしていく方向で考えている。様々な感染症予防対策をしつつ次年度は保護者と一緒の活動を増やしていきたい。		

B-2 地域の子育て支援

小分類	評価項目	評価結果
育児相談やふれあい体験保育など地域の子育てを家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っている	① いつでも育児相談が出来る態勢が整っている	B
	② リーフレットやポスターなどを作成し、積極的子育て情報の提供をしている	B
	③ 地域における子育てニーズを把握して子育て支援を実施している	*
【評価の根拠】 ・子育て情報等はホームページを通じて発信していった。 ・在園児の弟妹については、相談を行うことはあったが、地域の子育て相談については感染症予防対応もあり取り組みが積極的に出来なかった。次年度は取り組めるように努力したい。		

C 地域との連携

C-1 保育園の役割を果たすために必要な地域の関係機関・団体との連携

小分類	評価項目	評価結果
近隣の人々に保育について理解を得たり協力依頼するなどの配慮をしている	① 園外向けの掲示板やポスター等で園の様子や行事などについて、地域の人々に見てもらえるようにしている	B
	② 地域の人々に向けた保育園や子どもへの理解を得るための日常的なコミュニケーションを心がけている	*
	③ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者との関りに配慮されている	B
地域関係機関などと連携を深めるようにしている	① 育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が取れている	A
保育園の活動や行事に地域の人々の参加を呼び掛けるなど、子どもが職員意外の人と交流できる機会を確保している	① 子どもが職員以外の人々と交流できる機会を設けている	*
	② ボランティア・体験保育の人々を積極的に受入れている	*
	③ 他の保育園と交流する機会を設けている	*
<p>【評価の根拠】</p> <p>・感染予防対応に迫られ、園内での子ども達の健康な生活を保障することが1番の目標であった。出来る範囲での交流や相談、連携はあったが、以前には至らずに残念な部分が多い。次年度は情勢を見ながら地域の関係機関・団体との連携に努めたい。</p>		

D 運営管理

D-1 基本方針

小分類	評価項目	評価結果
保育所の保育理念及び基本方針を文明化している	① 保育理念を年度初めに職員で確認している	A
	② 基本方針は、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている	A
保育理念や基本方針を職員や保護者などに周知するための取組みを行っている	① 職員や保護者などに見やすい場所に掲示している	A
	② 保護者会や配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している	A
<p>【評価の根拠】</p> <p>基本方針はホームページ、園内掲示、新年度のお知らせ等で伝え職員と保護者への周知を行い、それに添った保育を心掛けている。</p>		

D-2 組織運営

小分類	評価項目	評価結果
保育の質の向上や改善のための取組みを職員参加により行っている	① 保育の質の向上や改善のための取組みについて、意図的・計画的に実施している	A
施設のリーダーシップが発揮されている	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明している	A
	② 施設長は、質の向上に意欲を持ち、その取組みに指導力を発揮している	B
運営改善の課題について把握し、計画的に取り組み、検証、見直しを行っている	① 運営改善の課題を把握し、計画的に取り組みを行うとともに、定期的に検証、見直しを行っている	B
<p>(評価の根拠)</p> <p>・施設長は12月末に交代し、前園長の仕事を引き継いだけりであるので、日々学びながら組織運営の向上や改善におき努力している。</p>		

D-3 人材育成

小分類	評価項目	評価結果
職員の研修ニーズを把握し職員に適切な研修機会を確保している	① 各職員について、適切な研修機会の確保を行っている	B
	② 園内研修を行っている	A
【評価の根拠】 ・感染症予防対策をとりながら、適切な研修を計画し、ズーム研修を多く取り入れていった。 ・園内研修は2か月に1度行っている。		

D-4 安全・衛生・危機管理

小分類	評価項目	評価結果
事故や災害に適應できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	① マニュアルは全職員がすぐ人手に取り、見ることが出来るところにある	A
	② 職員への周知方法として、全職員にマニュアルが配布されている又は研修や訓練が行われている	B
	② 外部からの侵入に対する対応を実施している	B
安全管理マニュアルがあり事故や災害に備えた安全対策が実施されている	① 緊急時に慌てず対応できるよう、医療機関等の連絡先を表示している	A
事故防止のための具体的な取り組みを行っている	① 事故防止、安全管理のためのチェックリストが作成されている	A
	② 毎日又は定期的にチェックが行われる	A
調理場、水周りなどの衛生管理はマニュアルに基づいて適切に実施されている	① 日頃からチェックリストを使った点検、確認等が行われている	A
水回り等、衛生管理は適切に実施され、食中毒等の発生に対応できるような危機管理体制が整備されている	① マニュアルは、全職員がすぐ手に取り、見ることが出来るところにある	A
（評価の根拠） ・安心安全な生活を送る為日々努力しているが、事故が起こった際に再発防止策を話し合い、繰り返さないように気をつけている。		

D-5 守秘義務の遵守

小分類	評価項目	評価結果
守秘義務の遵守を全職員に周知している	① 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について全職員に周知し、守られている	A
	② 保護者や地域の人からの相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られている	A
【評価の根拠】 ・全園児の情報については、職員の共通理解が必要となる。しかし秘密保持については、しっかり守るべき重要事項として周知徹底している。		